

このまちの100年

「西宮」

江戸時代に酒造で栄えた西宮。明治期には実業家、要人などが別邸を構えるように。鉄道網が整備されるとともに、観光地、住宅地としての開発も進み、『阪神間モダニズム』と呼ばれる都市文化も花開きました。



大正期

ウォーターシュートの遊具などで有名だった、香櫨園遊園地



大正期～昭和戦前期

甲山南麓に開発された、甲陽園。『東洋一の大公園』と銘打った



昭和戦前期

大正13年、阪神甲子園球場が開場となり、甲子園駅(奥の高架上)も開設された



昭和戦前期

日本初の二層式スタンドを有する全面天然芝の野球場であった、阪急西宮球場



昭和戦前期

『西の帝国ホテル』と呼ばれた、甲子園ホテル



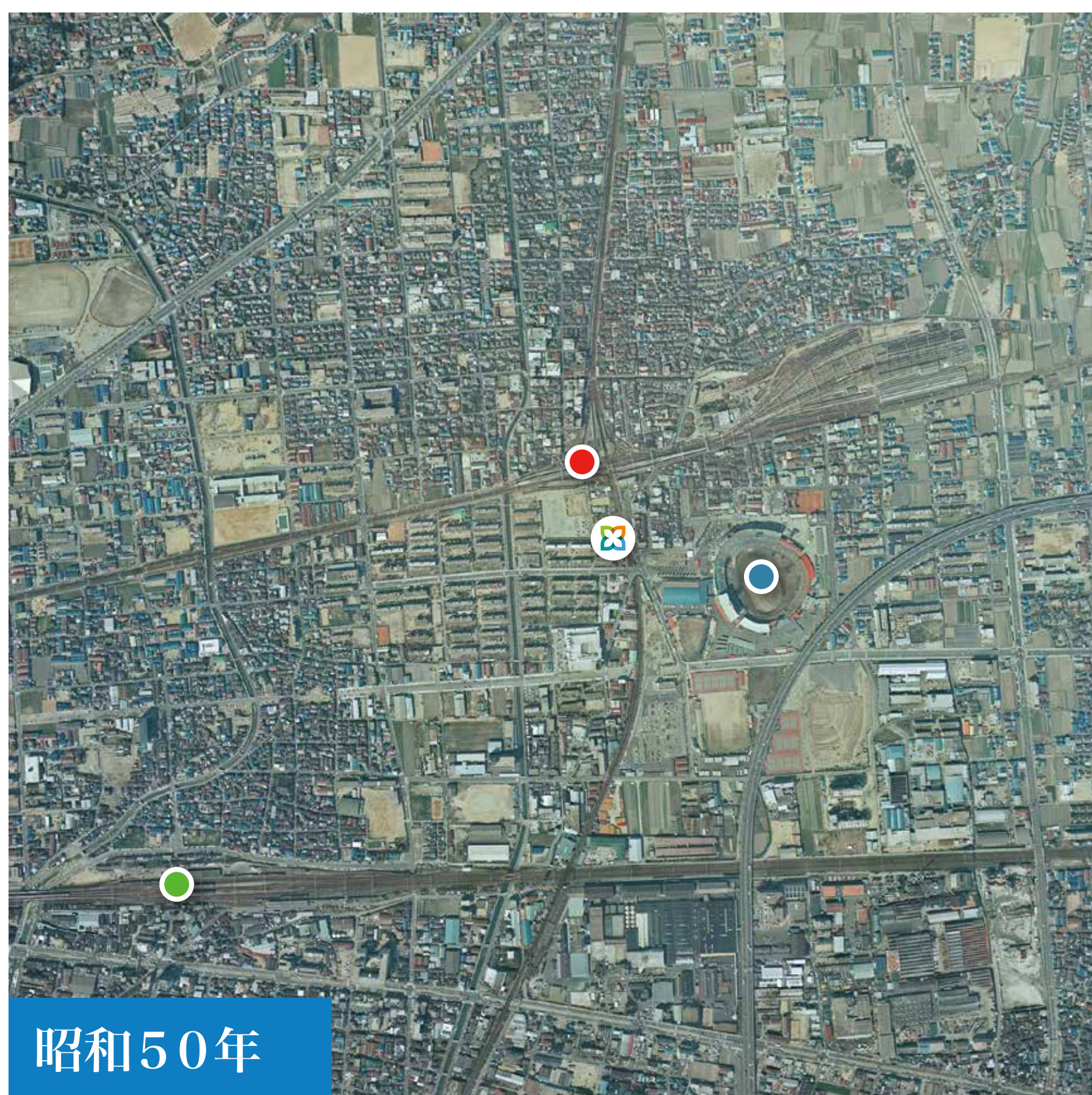
昭和41年

西宮市役所付近の様子

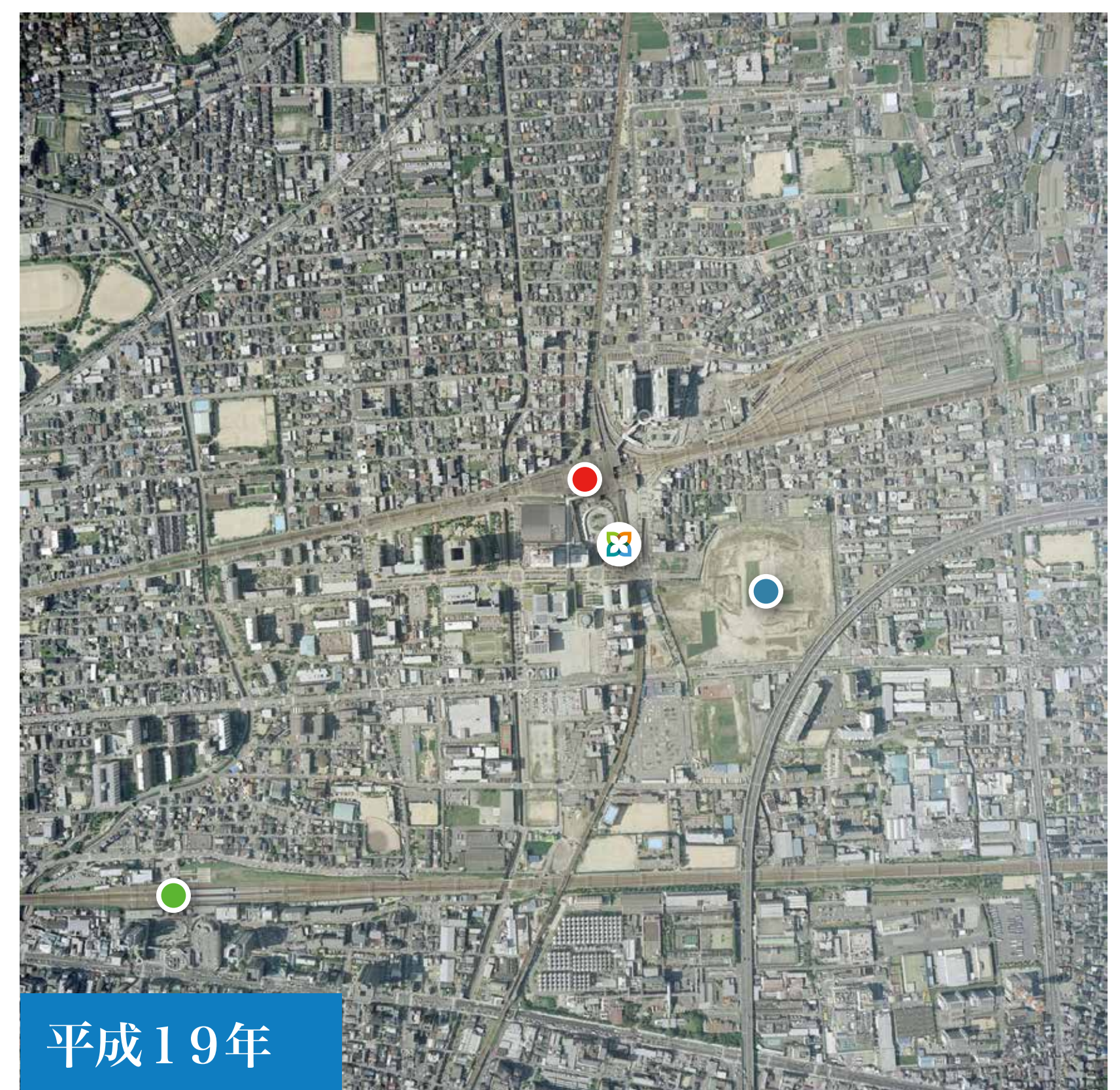
上空からみた西宮エリア



昭和23年



昭和50年



平成19年

● : 現在地
● : 阪急西宮球場／阪急西宮スタジアム跡地／阪急西宮ガーデンズ (平成 20 年～) ● : 西ノ宮駅／西宮駅 ● : 西宮北口駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ